

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者の重度化にともない、グループホーム本来の生活である、「共同生活」が出来づらくなっている。また、認知症ケアについての発信や、認知症の方と地域の交流を通しての認知症についての発信が出来ていない。	理念の一つである『利用者さん同士が支え合う「携わる」といった視点を大切にし、職員は共同生活者として利用者さんを援助します。』を実践することで、地域で支えあっている認知症になっても住み馴れた家で暮らしていけると希望を持てるようにする。そういった発信も行う。	重度化した場合、次のサービスにつなぐことが出来るよう、関連機関と連携を強くしていく。(地域ケア会議での積極的な情報発信・意見交換) グループホームを利用しやすい(低所得者)サービスにできるように行政に働きかける。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。